

新刊 2023年12月刊行

関東大震災をジェンダー視点で読み解く画期的な書！

関東大震災 被災者支援に動いた 女たちの軌跡

浅野富美枝 著 元宮城学院女子大学教授（家族社会学）

★定価 **1430** 円（本体1300円＋税）A5判・並製 120頁

★生活思想社 ISBN 978-4-916112-33-0 C0036 ¥1300E

2023年12月25日

主な著書「東日本大震災・福島第一原発による広域避難者との交流と「人間の復興」」『唯物論研究協会年誌第25号』（大月書店、2020年）、『「人間の復興」を担う女性たち—戦後史に探る力の源泉』（2016年）など。共著 浅野・天童睦子編著『災害女性学をつくる』（2021年）、みやぎの女性支援を記録する会編『女たちが動く—東日本大震災と男女共同参画視点の支援』（2012年）、以上生活思想社、など。



さまざまな女性の活動団体の「大同団結」によって
当時としては画期的な、被災女性への大規模な支援が行われました。

その後、彼女たちはどうなっていたのか…。
そして、私たちが学び・受け継ぐものは何なのか。
ジェンダー視点で関東大震災を「再読」します。

大正時代の生活や社会状況がわかるように注をつけ、当時のことがわからなくても理解しやすいように工夫。高校生からの歴史・社会科系の副読本としても活用できます。【裏・目次】

◆図書出版 生活思想社 〒102-0071 千代田区富士見2-2-2-203
電話・FAX 03-6261-7191（自動切替）
メール GFD05112@nifty.com <http://seikatusisosya.life.coocan.jp/>

生活思想社

検索

注文カード	流通地方・小出版センター扱い	貴店名（帖合）	注文冊数	関東大震災 被災者支援に動いた女たちの軌跡 浅野富美枝 著	定価 1430 円
				発行所名●生活思想社 電話・FAX 03-6261-7191 ISBN978-4-916112-33-0 C0036 ¥1300E	

もくじ

序章 いま、なぜ関東大震災なのか

- 女性たちの動きを検証することで見えてくること
- フェリス和英女学校の記録から
- 関東大震災100年—私たちは何を記憶しているのか
- 被災した女性たちの記録を掘り起こす
- ジェンダー視点で関東大震災を「再読」する

第1章 関東大震災と女性

- 1 被災の概要
 - (1) 甚大な火災被害
 - (2) 地方避難者は70万人以上に
 - (3) 25万人の失業者の発生
- 2 被災した女性たちの状況
 - (1) 男女で異なる被害状況
 - (2) 拘束状態下の集団犠牲—遊廓と紡績工場の女性たち
 - (3) 顕著な男女差が見られた失業者
 - (4) 結婚紹介事情に見られた男女差
 - (5) 多発した性被害
 - (6) 困ったこと、恐ろしかったこと—聖母の園老人ホーム入居者の記録

第2章 女性たちの被災者支援

- 1 女性たちの支援活動
 - (1) いち早く動いた女性団体 愛国婦人会／全関西婦人連合会
 - (2) 被災地・東京の女性団体 日本基督教婦人矯風会／女学校・同窓会／自由学園
 - (3) 支援にあらわれた性別役割分業
- 2 被災地に誕生した女性たちのネットワーク—「理屈なしに今は行動しましょう」
 - (1) 東京連合婦人会の誕生 東京連合婦人会設立の経過／4部門に分かれた東京連合婦人会の被災者支援活動／支援活動を通じた被災女性への調査／直接的な支援活動を超えて発展した活動—廃娼運動と婦選運動
 - (2) 横浜連合婦人会の誕生
 - (3) 被災地の女性たちの「大同団結」 二つのネットワークの共通点と相違点／横浜連合婦人会の「大同団結」／「大同団結」の源泉・シスターフッド

第3章 女性たちのネットワーク・その後

- 1 愛国婦人会—被災者支援の経験を国防に
- 2 全関西婦人連合会—戦争協力を拒み続けて…
- 3 東京連合婦人会—軍国主義の流れのなかで変わっていった会の性格
 - (1) 変容から解散へ
 - (2) 廃娼運動—運動内への性別役割分業の導入
 - (3) 婦選運動—生活改善・消費者市民運動へのシフトから体制内への積極的参加へ
 - (4) 「戦術転換」—女性参政権の獲得のために選んだ道とは
- 4 横浜連合婦人会—「日本の婦徳」のための組織へ
- 5 被災地の女性ネットワークの意義と限界

第4章 知らなければならぬこと—関東大震災の事実を掘り起こす

- 1 震災・火災だけではなく関東大震災の被害—流言・デマと虐殺事件
 - (1) 被災者を恐怖に陥れた流言・デマ
 - (2) 朝鮮人がデマと虐殺の対象になった背景
 - (3) 流言・デマと虐殺事件の根底にあった差別意識—福田村事件を例に
 - (4) 今も多発するヘイトクライム
 - (5) デマと虐殺事件に潜むジェンダー
 - (6) 震災を政治的に利用した弾圧事件とその背景—亀戸事件・甘粕事件
 - (7) 注意すべき災害時の情報の発信・受信
- 2 「関東大震災の奇跡」—地域住民による消火活動
 - (1) 神田和泉町・佐久間町の教訓
 - (2) ゆがめられた「教訓」—国家総動員に使われ始めた地域防災
- 3 戦時下の災害対応
 - (1) 報道されなかった被害状況・敷かれた箝口令
 - (2) 天気予報も軍事機密—防災・被災者支援を妨げた報道規制

第5章 100年後の今、関東大震災の女性たちから学ぶ

- 1 女性たちによる女性たちへの被災者支援を問い直す—関東大震災と東日本大震災の女性支援の共通点
 - (1) 支援が映す女性たちの生活の変化
 - (2) 被災女性たちの切実なニーズを拾い上げる努力
- 2 支援と受援の関係を問い直す
 - (1) 被災した女性たちの姿が見えない支援/見える支援
 - (2) 東日本大震災で見られた支援者と受援者の協働—「さいたま・さいがい・つながりカフェ」のケース
- 3 女性たちのネットワークを問い直す—女性たちのネットワークと拠点の構築
 - (1) 拠点機能を持ったネットワークが形成された関東大震災/多様なネットワークがゆるやかにつながった東日本大震災
 - (2) 期待される男女共同参画センター—その機能の充実のためには

終章 関東大震災の教訓を今に生かすために